

2024 年度 第 6 回運営推進会議

2025 年 3 月 11 日（火）
地域密着型介護老人福祉施設
越谷なごみの郷
C 館 多目的室

運営推進会議の趣旨

I. 運営推進会議の目的

1. 事業所運営の透明性の確保
2. サービスの質の確保
3. 事業所による「囲い込み」の防止
4. 地域との連携の確保

II. 地域密着型サービスの役割

- ① 本人本位の支援
- ② 継続的な支援
- ③ 地域で暮らし続けることの支援
- ④ 地域との支えあい等を理念とする地域密着型サービスは、入居者・利用者のより良い暮らしを着眼点に本人と地域との関係を断ち切らない支援

上記の役割を担うため、事業所と地域との良好な関係を築き、事業所が提供するサービスが、住民ニーズに即した価値のある地域資源として機能していく必要がある。利用者がどのような暮らしを望み、これからサービスを利用するかもしれない住民が何を期待しているのかを知らなければならない。

運営推進会議は、事業所と地域との関係をつなぐ一つの手段であり、地域密着型サービスを「事業所と地域住民とが一緒に育てていくことを目的に行っていく。

1. 介護老人福祉施設

【運営状況報告】

● 介護老人福祉施設 1月14日～3月11日までの入居・退居状況

入居者	退居者	ショートステイ	在籍者
3名	3名	定員9名	29名

● 平均年齢と平均介護度

平均年齢	平均介護度
86.7歳	3.79

● 人員体制 人員配置基準(3:1)

入退職者・異動職員	地域密着型施設の職員数	現在夜勤可能職員数 夜勤専従
入職者=0名 退職・異動者=1名	19名(前回比 1名) 常勤換算数:14.0人 配置基準3:1割合(2.3:1)	夜勤可能職員数10名(4～6回) 夜勤専従1名(9回～10回) 夜勤配置2人配置

● 教育・研修等

- ・法令に沿った研修を実施予定

● 活動状況・予定

活動状況	・SSにおいて月2回の出前をとる活動は継続しております。 ・1月はドライブの実施、気分転換が出来ました。 ・2月は鍋企画(1F・2F)を実施。大変好評でした。 ・3月24日寿司バイキング予定。 ・4月15日、5月23日いちご狩りを予定。
ユニット会議 リーダー会議	・ユニットフロア会議:実施できておりません。 ・ユニットリーダー会議:3月8日実施 来年度に向けての課題、内部監査・実地指導の報告等話し合いました。
研修	・法人研修は後期研修実施(感染委員会、虐待防止委員会・事故防止委員会、褥瘡予防委員会、身体拘束予防委員会) ・3月は食支援委員会、看取り研修を実施予定 ・その他個人研修は実施している職員はいませんでした。

●事故・苦情の発生状況

種別	件数	内 容
転落	1 件	① 22 時頃巡回していると声が聞こえ居室に伺うと、ベッドの下に座り込んでいるご本人を発見。AI ベッドを使用しているが、確認すると電源が入っていなかった。ご本人はトイレに行こうとした様子。対策としては、早番・夜勤者は必ず電源が入っている事を確認することとする。
異食	0 件	
ずり落ち	0 件	
薬	4 件	① SS 利用者が利用期間が延長になっていたが、看護師へ伝達ができおらず夕食後薬がセットされておらず 2 日間内服されていなかった。看護師は業務に入る前に入退所の確認を現場職員と確認を行う。利用期間の変更があった場合には、又聞きにならないよう受付した職員が責任を持って関係各所へ連絡することとする。 ② 夕食後夜勤者が床の清掃中に内服薬の錠剤が落ちているのを発見。一度口の中に含んだ為か薬の印字が消えてしまっており口の中から落薬したと考えられる。対策としては、錠剤のお薬に関しては粉薬に変更することとする（粉薬にするのには時間がかかる為順次進めていく予定）特養のみの対応。 ③ 看護師が当日の夕食後の薬をセットしようとする前日の夕食後薬が残っているのを発見する（2 名分）。原因としては、日勤から夜勤へ勤務交代を行う際に、まだ内服していない薬がある事を夜勤者へ伝言行った。夜勤職員は内服薬ではなく貼り薬がまだであるという事の伝言のみだと思っていた。夜勤職員はルールとして決まっているポシェットの中身のチェック、ポシェットのダブルチェック、サインの確認もせず、そのままにしていた。また、日勤職員は夕食後の薬を内服していないにも関わらずサインを行っていた。すべてのルールが遵守で k ていないことによる事故である。（2 名分の為事故 2 件）
骨折	0 件	
その他 (苦情・離設)	3 件	① 利用中 14 時 15 分頃ご本人の姿が見えない為、館内を搜索するも見つからず。14 時半頃ご家族へご本人が所在不明となっている事を報告。15 時 10 分頃ご家族よりご本人の GPS が隣のつばさ薬局に居たとなっていると連絡あり。離設している可能性が高い為、全館職員で搜索にあたる。15 時 50 分頃、近所のスーパーにて施設職員が発見する。

		検証した結果、ユニット自動扉より職員が出入りした際に出てしまった可能性が高い、そこからユニットと C 館の鉄扉、C 館自動扉へ向かい出てしまったと予測される。C 館の鉄扉は施錠されていたが、検証の際にご本人が開けることが出来た。また、ご本人が所在不明となっていた 14 時～14 時半頃は C 館へマッサージの方が見えていた為、手動で開けることができるようになっていた。再発防止策は、自動扉・ご本人が使用の居室にセンサー設置、リビングと居室の窓にはファスナーロック設置、夜間帯 22 時～早番が出勤するまでは自動扉を施錠する。30 分毎の所在確認実施。 ② SS 利用者さんより（必ず移乗やトイレは職員付き添いの方です） ・男性スタッフに寝る際に居室へ誘導してもらったがそのまま置いて行かれベッドに移れず、自分でベッドに移った。 ・朝 7 時頃コールを鳴らしたが職員が来ずベッドから車いすへ自分一人で移乗した。 ・トイレに行きたかったのでコールを押したが職員が来なかった為、自分一人でトイレに向かい、動ける利用者さんに頼んでズボンを下してもらった。 (対策)夜間臥床の際は、休まれる時間を確認しその時間に訪室する。夜間帯は優先順位を考えて対応を行う。 ③ 夫婦でご利用の SS の利用者さん 奥様より、旦那様が夜間帯職員から責められているような感じがすると報告あり。当日夜勤であった職員へ確認すると、奥様が 1 時間～2 時間毎に起きられ、寝ている旦那様に声をかけようとしていた為、奥様にお声がけをさせて頂いたとの事。 (対策) 利用者さんが不快な思いをしないような声かけを行う。
--	--	--

2024 年度の目標

- ①本年度、誤嚥性肺炎での入院者をユニット全体で 3 件以内にする
- ②求職者の施設見学の際、ここで働きたいと思っていただけるように、美化活動を、各自 1 件以上実行することにより、働く職場に自信を持ってもらう。
- ③職員の専門性を上げるため、積極的に資格取得や、施設指定のほかに各自 1 件以上自分のスキルを上げるための研修を行う「SMBC（ウェブ研修）であったり、法人の選択研修を活用する」

運営推進会議の会議録

会議名称 : 2024年度 第6回運営推進会議
事業所名 : 地域密着型介護老人福祉施設 越谷なごみの郷
サービス種類 : 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
会議開催日時 : 2025年3月11日（火） 10時00分 ～ 10時30分
会議開催場所 : 越谷なごみの郷

《運営推進会議出席者》

入居者	0名
入居者家族	0名
地域住民の代表	0名
知見を有する者	0名
地域包括支援センター職員	1名
事業者	5名

《議 題》

■ 2025年1月14日～2025年3月10日までの活動状況の報告

《運営報告・活動状況等の報告》

○資料参照

《ご家族や参加者からの要望、助言、意見等》

山田にて、運営推進会議の趣旨の説明

山田にて、第5回運営会議推進会議録資料に沿って、報告

参加者、説明に対し理解し了承する。

参加者からのご意見なし

《次回の会議》

○ 次回議題

- ・ 2025年3月11日～2025年5月11日までの活動、状況報告
- ・ 運営等についての意見交換
- ・ 地域密着型サービスの主旨に基づいたサービス提供ができているかを基本に、地域活動を含め協議していく。

○ 次回開催月日 2025年5月12日（月）

○ 次回開催場所 越谷なごみの郷